

「オオミズアオ」

「日本産の蝶で一番美しいのは？」と聞かれても、これは迷ってしまいます。蝶は美しいものが多いからです。「アサギマダラ」「ミドリシジミ」「コムラサキ」・・・いや、やっぱり決められません。しかし、「日本産の蛾で一番美しいものは？」と聞かれたら、即答できます。「オオミズアオ」です。



「オオミズアオ」(ヤママユガ科) *Actias artemis*

羽化したばかりだったのでしょう。まだ後翅が開ききっていませんでした。まだ一度も飛んでいないので、翅は無傷でした。(埼玉県東秩父村)

オオミズアオ(大水青)は、空色の翅を持った大型の蛾です。蛾らしくない非常に美しい翅を持っています。触覚を見なければ、誰もが蝶だと思ってしまうでしょう。これでアゲハのように優雅に飛べばすばらしいのですが、残念ながらそこは蛾ですね。夜間に灯火めがけて、大きな翅をバサバサさせて飛ぶので、ちっとも美しくありません。何度も飛んだオオミズアオは翅が傷だらけになっています。美しいオオミズアオに出会うには、羽化直後のものを探すしかありません。

(お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋)